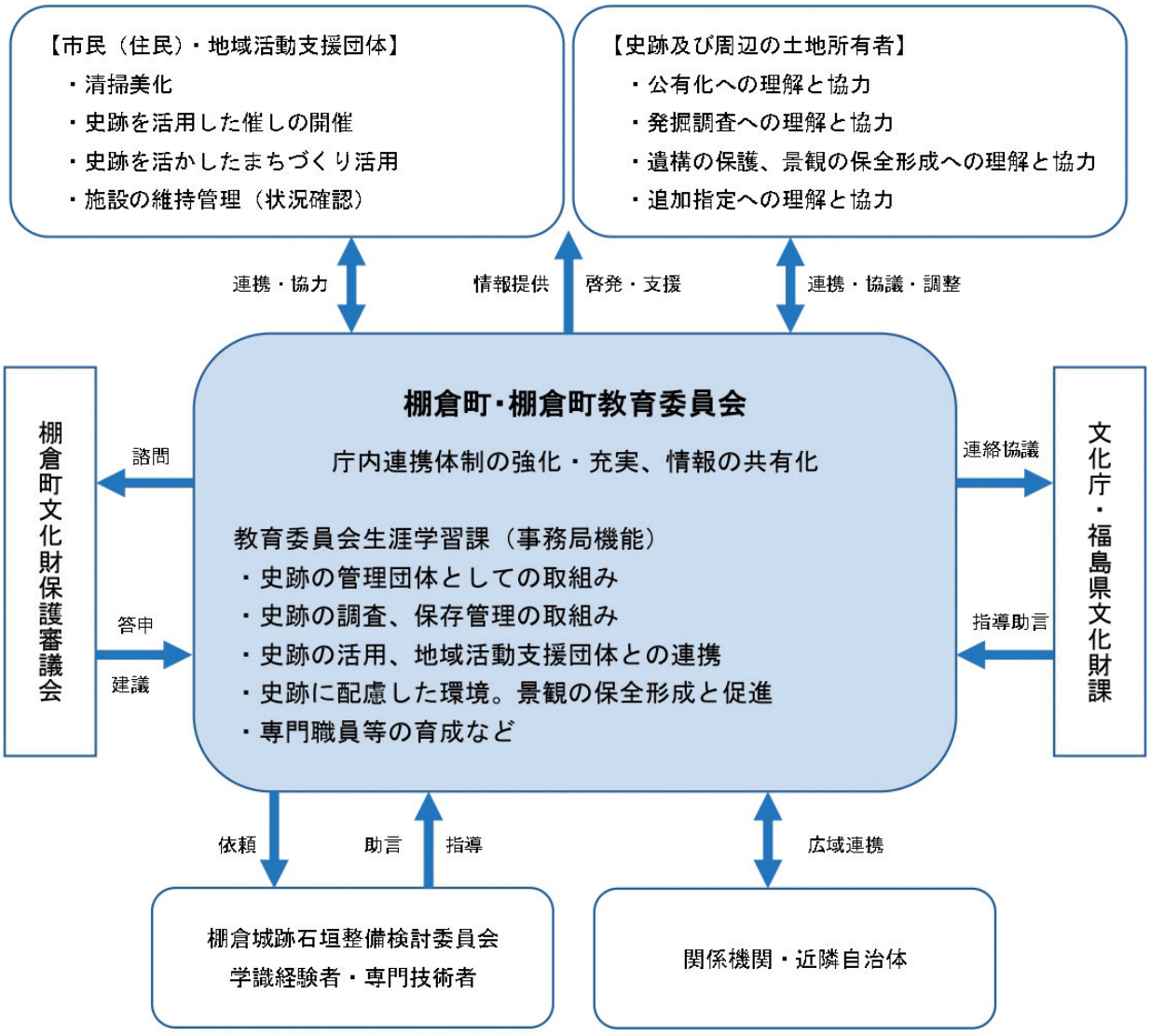
第７章　管理運営計画

第１節　管理・運営に関する計画

棚倉城跡の管理・運営については、今後とも管理団体である町が主体となり、関係機関および関係団体と連携のうえ行う。また、今後、棚倉城跡の実態を解明するための各種調査の実施や遺跡をより効果的・効率的に整備するとともに保存・活用を図るにあたっては、関係部局・機関との連携を図る。文化財保護担当部局では、棚倉城跡の日常的な管理・点検等を適切に実施し、遺構の変形や損傷、植生や施設の状態を把握することで速やかな対応を図り、遺構保存と来訪者の安全確保に努める。また、自然災害や事故等における危機管理についても迅速かつ適切な対応に努める。

また、本史跡を適切に保存管理し、活用や整備を円滑に進めていけるよう、担当部署の適正な職員配置や庁内関係各課との連携強化に努める。。



第 57 図　管理・運営体制のイメージ

第 13 表　管理・運営と役割分担（案）

管理運営項目	内容	役割分担（案）
施設・工作物等の保守管理	・施設の修繕など。	町が主体となって行う。
清掃・植栽管理	・定期的な除草、防除、施肥。 ・水量・水質の管理。 ・枯れ木の剪定、伐採。	町が主体となって行う。
	・日常的な清掃や除草。	地域活動団体（住民）と町が協働で行う。
巡視・点検	・施設の異常・不具合の報告など。	地域活動団体（住民）と町が協働で行う。
イベントの開催	・見学会、ガイドツアー、地域の催しなど。	地域活動団体（住民）と町が協働で行う。

第２節　事業計画

・史跡の追加指定や土地公有化の進捗を踏まえ、地区の状況に合わせた段階的な整備を行う。

第１期：二ノ丸西面石垣の保存修理、サイン整備、視点場整備

第２期：本丸御殿・桝形虎口の構造解明に向けた調査

第３期：建物遺構の平面表示、桝形虎口土塁の復元、施設の移転

・当面の整備対象を第１期とし、第２期以降については中・長期的な整備計画（方針）として本計画に位置付ける。

第３節　史跡指定及び公有地化

１　二ノ丸

二ノ丸の未指定地については、当面指定同意取得に取り組み、条件の整った範囲から追加の史跡指定を目指す。二ノ丸西面石垣については、石垣の保存修理に合わせて公有地化に取り組む。二ノ丸全体の公有地化については、長期を見据えて取り組むものとする。

２　三ノ丸

当面指定の同意に取り組み、条件の整った範囲から追加の史跡指定を目指す。三ノ丸全体の公有地化については、長期を見据えて取り組むものとする。

○事業計画（案）を表に示す。

第 14 表　事業計画（案）

		第1期（短期）						第2期（中期）					第3期
		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2033以降
		R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
整備事業	調査整備委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	①本丸と本丸堀の整備												
	サイン整備（発掘調査・史料調査・調整）		●										
	サイン整備（実施設計）			●									
	サイン整備（整備工事）・史跡標識				●								
	サイン整備（整備工事）・総合案内					●							
	サイン整備（整備工事）・本丸土塁東側								●				
	サイン整備（整備工事）・本丸土塁西側									●			
	視点場整備（現地調査・調整）						●						
	視点場整備（実施設計）							●					
	視点場整備（樹木整理）・本丸土塁東側								●				
	視点場整備（樹木整理）・本丸土塁西側									●			
	本丸堀の水質浄化に向けた取組み	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	本丸御殿の構造解明に向けた調査							●	●	●	●	●	
	本丸御殿の構造解明に向けた発掘調査								●	●			
	桝形虎口土塁の構造解明に向けた調査							●	●	●	●	●	
	桝形虎口土塁の構造解明に向けた発掘調査									●	●		
	計画見直し											●	
	②二ノ丸の整備、③三ノ丸の整備												
	サイン整備（発掘調査・史料調査・調整）		●										
	サイン整備（実施設計）			●									
	サイン整備（整備工事）・史跡標識				●								
	サイン整備（整備工事）・総合案内					●							
	視点場整備（現地調査・調整）				●								
	視点場整備（実施設計）					●							
	視点場整備（樹木整理）						●	●					
	石垣カルテの作成		●	●									
	石垣変動量(災害復旧)	●											
	石垣整備発掘調査(災害復旧)		●										
	石垣整備公有地化(災害復旧)		●										
	石垣整備基本設計(災害復旧)			●									
	石垣修復工事(災害復旧)				●	●							
	石垣整備報告書作成(災害復旧)						●						
	石垣及び防護フェンスの定期的観測	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	外堀の構造解明に向けた調査												●
	計画見直し											●	
調査研究		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
公有化・追加指定			→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
活用事業		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
周辺整備		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
維持管理・運営		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

参考・引用文献

「棚倉町史第一巻」 1982 年　棚倉町
「棚倉町史別巻三」 1982 年　棚倉町
「棚倉町埋蔵文化財調査報告書 23 棚倉城跡Ⅰ」 2014 年　福島県棚倉町教育委員会
「棚倉町埋蔵文化財調査報告書 24 棚倉城跡Ⅱ」 2015 年　福島県棚倉町教育委員会
「棚倉町埋蔵文化財調査報告書 25 棚倉城跡Ⅲ」 2016 年　福島県棚倉町教育委員会
「棚倉町埋蔵文化財調査報告書 26 棚倉城跡」　2017 年　福島県棚倉町教育委員会
「棚倉町歴史文化基本構想」 2019 年　福島県棚倉町教育委員会
「棚倉町歴史的風致維持向上計画」 2020 年　福島県棚倉町
「国指定史跡棚倉城跡保存活用計画書」 2021 年　福島県教育委員会
「棚倉町埋蔵文化財調査報告書 28 町内中世城館調査報告Ⅱ」 2022 年　福島県棚倉町教育委員会

国指定史跡　棚倉城跡
整備基本計画書

令和5年3月

発行・編集　棚倉町教育委員会
〒963-6123　福島県東白川郡棚倉町大字関口字一本松58
TEL 0247-33-0111
印刷・製本　㈱タカハシ印刷
〒963-6131　福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字新町85
TEL 0247-33-3784